

国労本部電送 No. 88	発信日 2022年11月29日	発信 企画部	責任者	受領者
------------------	--------------------	-----------	-----	-----

闘争指示第24号
2022年11月29日

各 エリア本部
各 闘争委員長 殿
各 地方本部

国 鉄 労 働 組 合
中央闘争委員長 松川 聡

第10回国労フクシマ交流・視察学習会報告と活用について

本部は11月26日～27日、次世代を担う青年・女性部組合員とともに第10回目となる国労フクシマ交流・視察学習会を実施した。

この間、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020年11月の第8回交流・視察学習会から全国から仲間を結集しての取り組みは規模の縮小を余儀なくされてきたが、第10回目の節目に当たる本年は、ふたたび各エリア本部代表とともに東日本本部・各地本代表ならびに原発立地地本代表とJR採用組合員14名を交え、総勢37名の参加で常磐線運転再開状況や原発事故関連施設をつぶさに視察した。

さらに2日目の現地集会では、関係地本である仙台地本と水戸地本27名の組合員とともに第25代高校生平和大使の活動報告に耳を傾け、福島県平和フォーラムの引地事務局長からトリチウム放射能汚染水の海洋放出の問題点について講演をいただき、水戸地本から常磐線復旧工事と運転再開までの経過について報告を受け、あらためて「フクシマ」で起きた現実を風化させず、全国各地において原発再稼働に反対し、脱原発の取り組みを強化させていく決意を固め合った。

今後の取り組みに一助として今回の第10回国労フクシマ交流・視察学習会の報告・資料ならびに原発立地関係3エリア・6地本報告を別紙の通り送付する。

また国労フクシマ交流・視察学習会の10年の歩みをまとめた冊子を別途、各機関に配布するのであわせて活用されたい。

記

1. 「第10回国労フクシマ交流・視察報告」（国鉄労働組合）
2. 「各地における原発再稼働反対・脱原発の取り組み」（関係3エリア・6地本）
3. 「脱原発ーフクシマの現実と課題」（引地力男福島県平和フォーラム事務局長）および水戸地本「常磐線工事及び運転再開報告」

以 上